

原稿や校正からたどる
古川柳研究家の歩み

「西原柳雨関連資料」

庄島町出身で、日本三大古川柳研究家の一人である西原柳雨（1865～1930）が作成・収集した資料群です。柳雨は43年間の教壇生活の傍らで古川柳の研究を続け、その大家として名を馳せました。

資料群は、柳雨が手掛けた川柳関連書籍の原稿・校正綴り、研究資料として蒐集したとみられる、江戸時代後期から明治時代の写本や版本など計54点から成ります。原稿の内容は、古川柳の歴史に関する論考、川柳句の紹介と解説、川柳作成に必要な用語や語句の説明などです。柳雨の研究テーマの一つは、川柳句の表

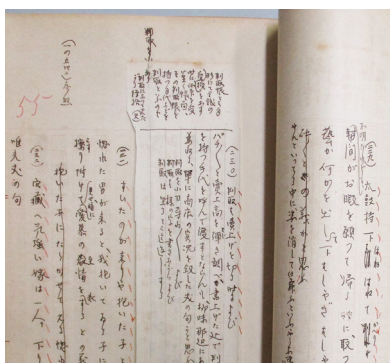


柳雨が手掛けた原稿・校正綴り

現から、東京の芸術文化と川柳との関係性を紐解くことでした。

校正綴りは、大半が下摺りをとじたものですが、「誹風柳樽講義二篇第一稿」と題された冊子の中身は手書きの原稿で、初篇・二篇を1冊にして刊行する構想でまとめられています。本文内容はこの第一稿を踏襲しつつ、刊行計画は変更され、昭和5年（1930）に初篇のみが『誹風柳多留講義初篇』（岩波書店）として刊行されました。

また、柳雨が教員時代に自身の教材として編集したと思われる「教科書用植物学原稿」も残り、動物・植物科の教員としての一面を垣間見ることが出来ます。いずれも柳雨の業績や活動をたどるうえで重要な資料です。



『誹風柳樽講義二篇 第一稿』（部分）。書込みから推敲の過程がうかがえる

新収蔵資料一覧

日付	資料名	点数	氏名	区分
3・1	吉田二八郎家資料	2	吉田二八郎	寄贈
3・1	木下昌博家資料	24	木下昌博	寄贈
3・1	一七七年式防空用防毒面	1	匿名	寄贈
3・1	釘抜紋鬼瓦	1	匿名	採集
3・31	西田家資料	35	柿本富久子	寄贈
4・18	上野健三郎家資料（第1次）	942	上野健三郎	寄贈
4・19	岡来蔵関係資料	32	岡テル子	寄贈
4・25	九州日報	3	匿名	採集
5・10	戦時切手資料	2	匿名	寄贈
7・4	海山名所図会	5	渡邊慶子	寄贈
7・8	和歌短冊二枚	3	田堀雅尚	寄贈
7・13	高松凌雲書簡及び宇治田東駭書簡	1	匿名	寄贈
7・26	御井町水天宮関係資料	3	平田洋一	寄贈
10・13	三浦家資料（第2次）	10	三浦光	寄贈
12・19	堺家資料	23	堺富美子	寄贈
12・28	西原柳雨関連資料	54	井手香織	寄贈
1・12	手拭い ふるさとを唄おう	1	匿名	採集
1・31	松崎家資料	25	松崎誠	寄贈